

まえがき

この本は、「学校の保健室を利用するすべての人にとって、居心地のいい保健室にするための整理収納術」を書いたものです。

学校の保健室には、養護教諭（わかりやすく言えば「保健室の先生」）が常駐しています。

この本は、養護教諭、もしくは将来養護教諭になりたい人や養成機関に携わる人が、手に取ってくださっていると思います。

現役の養護教諭の方へお尋ねします。

「現在のあなたの保健室は、居心地がいいですか？」

「はい、毎日快適です！」と即答できる方は、この本を読む必要はありません。

きっと、「とても居心地がいいと言える状態じゃないな……」と思われる方が多いのではないかと思います。毎日たくさんの来室者の対応、保健室登校や特別支援児童生徒の対応に追われていることでしょう。

さらに、保護者への対応、幼児・児童・生徒が下園・下校後は、事務処理、他の職員の相談に乗ったり、と日々の執務に追われ、保健室の片づけまで気が回っていないのが現実ではないでしょうか。

私は、公立の小学校の養護教諭を二十三年間勤めました。

長年、保健室を中心に活動してきて実感することは、「学校の中で、特に保健室は整理収納が行き届いている場所であるべきだ！」ということ。さらに、「保健室は、そこにいるだけで癒やされる場所であるべきだ!!」と思っています。

偉そうに言っている私が、そう思い始めて実際に行動に移したのは、長い養護教諭人生の最後の数年です。

ここで少し私のことについて書かせていただきます。高校卒業後、看護師として、小児の整形外科・肢体不自由児施設で三年間働きました。その後、養護教諭の養成機関に一年間通い、平成四年に小学校の養護教諭として採用されました。

待望の養護教諭生活は、小学生に関われる喜びと仕事のやりがいと充実していました。その頃のことを振り返ると、目の前のことに精いっぱい、保健室の整理収納まではまったく気が回っていませんでした。

養護教諭人生の中で力を注いできたことは、子どもたちの自己肯定感を高めたい、ということ。その思いから、まずは、心に働きかけたくて、性教育に取り組みました。三校目の小学校では、幼稚園や中学校と連携しながら七年間取り組みました。途中からは、体への働きかけとして、生活習慣に関するテーマにも取り組みました。

そんな中、私に整理収納と出会う機会が訪れます。

そろそろ次の小学校への異動時期が迫っていた頃に、急に体調を崩して入院しました。突然、一カ月の療養休暇を取ることになり、自宅療養中に、なんだかとても家の居心地が悪かったのです。それはどうしてか？と考えた結果、こだわって建てた家に、八年の間で物が増え、雑然としていたからだと感じました。

それを機会にきちんと片づけについて勉強したいと思い、整理収納アドバイザーの二級を取りました。自宅と保健室を片づけ始めると、私の心と体がみるみる元気になってきました。

片づけの効果を実感したので、他の養護教諭や職員にも伝えたくなり、整理収納アドバイザー一級を取りました。

その後は、学校内で若手教師の教室やプールの倉庫、体育コーナー、職員室なども片づけて、学習環境・職場環境を整えました。他校の保健室にも訪問し、保健室の環境を整えるお手伝いもしました。

その経験から、**学習環境を整えることは、子どもたちの心や体にとって非常に大切だと実感したのです。**

私は、養護教諭として、心や体への働きかけを長年かけて行ってきました。その効果が、じわじわと現れるまでには年単位で時間がかかります。その点、環境を整えることは、見た目にもわかりやすく、効果を感じるのも早いです。それを考えると、**養護教諭の経験年数が浅くても、すぐに取り組めるのは環境です。**

養護教諭がホームとしている保健室は、多くの人が利用し、中でも心や体が弱っている人が多いのです。そんな場所だからこそ、整理収納の必要性があります。

でも現実には、あまり整理整頓されていないように感じます。それは、日々の執務が忙しいため、養護教諭自身に時間的にも精神的にも余裕がないことが挙げられます。

だからといって、現場の養護教諭は、それでいいとは思っていません。「何とか片づけたい」「片づけなくちゃ」と思っているわけです。

そして、一念発起していざ片づけるにしても、どこからどうするのか、一人でどれだけできるのか、というところでつまづくのです。

養護教諭自身がストレスなく働けること、そして利用する誰もがどこに何があるかわかるような使いやすい保健室であることが、最終的に児童への余裕のある対応につながると思います。

この本は、あなたの理想とする保健室にするための整理収納術について書かれています。そして、私が養護教諭として実践してよかった取り組みを紹介しています。なお、今回まとめるにあたり、目に見える物の整理収納にしぼりました。目に見えない物（例えば時間管理や児童への指導についてなど）については、また別の機会にご紹介できれば、と考えています。

これまで、保健室の整理収納が気になっているけれど、取りかかる時間がない、苦手だから見て見ぬふりをしていた、という方は、ぜひこの機会に取り組んでみてください。小さな一歩が、自信につながり、その繰り返しで最終的に理想の保健室、理想の養護教諭への近道になります。

さあ、私と一緒に保健室の整理収納をやってみましょう！

なお、これから保健室の整理収納について書き進める中で、対象の子どもの表現についてお断りしておきます。

私は、長年小学校ばかりで働いてきました。

児童しか対象にして勤めていないので、本文中には『幼児・生徒』と振り分けなければならない箇所も『児童』という表現にしております。